

校内研修計画

1 授業研究の進め方

<p><研究主題> 「語り合い認め合う子どもの育成 ～ 道徳授業の実践を通して」</p> <p><めざす子ども像> 自他の思いを大切に、語り合い認め合う子ども</p> <p><研究仮説> 多様な価値観と接する場を設定し、深める発問を工夫すれば、多面的多角的に考える交流活動を行い、語り合い認め合う子どもが育つであろう。</p> <p><取り組み内容> 道徳授業の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 深める発問の工夫 多面的・多角的に考えさせる発問、主体的に考えられる発問を行う ○ 交流活動の工夫 多様な考えに触れ、認め合い語り合う場を持つ ○ 安心して過ごせる集団づくり 資料提示、活動の説明などの工夫、個別支援の実施。生徒指導の3機能を意識した日常的な働きかけ

- (1) 道徳の時間について、共通理解を図る
道徳の時間の指導における7つの基本方針。道徳需要に生かす7つの指導方法の創意工夫
- (2) 「発問」について
- (3) 部会ごとに、今後の予定を決定(授業者) <研究組織>2部会 低学年部(1・2・3年) 高学年部(4・5・6年)

2 今後の予定(案)

5/29	水	校内研 全体研「発問について考えよう」
6/5	水	校内研 全体事前研 「多面的多角的な考えが生まれる発問を考えよう」 ※ 低・高に分かれ、それぞれで指導案を作る。 3年学級担任は、資料を選び指導書の指導案と、教科書を用意
6/12	水	小教研
6/19	水	校内研 検証授業 「発問によって、多面的多角的な考えが生まれたか」 ※ 前回作られた指導案による検証授業
7/3	水	小教研
7/10	水	校内研 個人研 「この発問で、どうでしょう？」 ※ 10日～16日の間に行う道徳の授業の発問を考え、実践する。児童の反応を受け、成果と課題を17日に報告。
7/17	水	校内研 全体研 「この発問で、こうなりました」 ※ 前週行った授業の報告。略案を印刷して用意。
7/24	水	部会研
7/31	水	個人研
8/7	水	教材研究 指導案作り
8/23	金	小教研
8/28	水	校内研 部会研(10/9につながる互見授業指導案作り)
9/4	水	校内研 互見授業(低 高 1本づつ)事後研
9/11	水	校内研 部会事前研
9/25	水	校内研 事前研
10/2	水	校内研 部会事前研 6年修学旅行
10/9	水	発表(低 高 1本づつ)

※10月中に、互見授業(3本)を行い、11月にまとめる

- ## 3 研修のあいことば
- 毎回の研修で教職員も「せ・ち・あ」(セレクト・チャレンジ・アクション)で振り返り